

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 6 月 5 日現在

機関番号：16101

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2010 ～ 2011

課題番号：22792269

研究課題名（和文）長期入院精神障害者の患者の思いにそった退院支援用データベースと
検索システム開発研究課題名（英文）Development of a database for supporting discharge and search system
which are required for mental disorder patients who have a long-term hospitalization

研究代表者 千葉 進一（CHIBA SHINICHI）

徳島大学・大学院ヘルスバイオサイエンス研究部・助教

研究者番号：30515622

研究成果の概要（和文）：開発したシステムを用いれば、看護師は北米看護診断協会の 13 領域を用いて患者を的確にアセスメントし、退院の支援計画を看護計画データベースから立案し、介入を実施・評価することができる。患者が希望する退院場所をインターネット検索で決定すれば、退院支援クリニカルパスを使用し多職種で介入が行える。また地域連携パスを使用し、入院中の訓練と退院後の生活支援を組み合わせ、患者の思いにそった退院支援が行える。

研究成果の概要（英文）：Using the system developed in this study, a nurse can assess patients precisely with 13 domains of a North America nursing-diagnosis association, make a support plan for discharge through a nursing care plan database, and carry out and evaluate the intervention. If the place patients want to live is decided through the Internet search, a nurse can intervene in multi-disciplinary way by using a clinical path for supporting discharge. Moreover, by using an clinical path of inter-regional association and combination of inpatient training and support for life after discharge, a nurse can carry out the discharge support that patients wish.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	500,000	150,000	650,000
2011年度	700,000	210,000	910,000
年度			
年度			
年度			
総計	1,200,000	360,000	1,560,000

研究分野：地域・老年看護学

科研費の分科・細目：看護学・地域・老年看護

キーワード：精神障害者、患者の思い、
退院支援、検索システム

1. 研究開始当初の背景

平成 15 年度に厚生労働省は精神科にお

ける長期入院に対する是正策として、10 年間に 7 万の病床数の削減を目指して、精神

障害者退院促進支援事業支援実施要綱を公表した。しかし、十分な予算が確保できない等の理由により退院促進支援事業が効果的に実施されていない都道府県がある。先行研究に、退院支援中の社会的入院患者を対象を絞った退院支援に対する患者の思いを調査した報告はみられなかった。そこで研究代表者が所属する研究チームでは、3年前から退院支援により退院できた患者と退院できなかった患者の双方に共通する思いを明確にして、退院につなげる研究に縦断的に取り組んでいる。

ノーマライゼーションの理念に基づく援助では、障害者が社会の他の人々と同じ価値や条件に基づいた生活が送れるようにするための環境を整備し、その人のニーズにあった特別な支援を提供し、障害者が地域で当たり前のような生活ができるようにすることが重要である。長期入院患者や社会的入院患者が退院する際には様々なニーズを持っている。退院できたとしても退院後にニーズに合った支援提供されていなければ、質の高い生活を実現することができないばかりか再入院につながる恐れもある。

そこで患者の思いに沿ったニーズのデータベース(DB)を作成し、支援資源のデータベースと照合することによって、患者の思いにそった退院支援と退院後の継続支援が可能になると考えた。

現状では、精神科における退院支援中の社会的入院患者の思いを調査した報告はみられず、それをDB化した研究もない。地域連携に向けた情報技術化の実例の研究はあるが、長期入院患者や社会的入院患者の退院後の生活を支える支援資源をDB化した研究はみられない。研究代表者らが所属する研究チームでは、これまでに退院促進支援中の精神科の長期入院患者の思いの検

討を縦断的に研究してきており、すでに精神科における看護管理のIT化の研究実績がある。加えて、患者の思いに沿った看護を行うためのケアリングの研究も行ってきた。

本研究ではこれらをさらに発展させ、患者のニーズにそった退院後の支援方法を決定するために、IT技術を用いてDBを作成する。本研究でデータベース化が完成することにより、社会的入院患者の退院が決定すれば、各病院スタッフが患者の退院後のニーズを聴取し、インターネットを利用してサーバーにアクセスし、患者の思いに沿った支援資源を決定することができるようになる。これにより、十分な予算が確保できない地域の退院支援も可能になり、精神科の社会的入院患者数は減少すると考えられる。

2. 研究の目的

コンピュータを用いて長期入院精神障害者の退院支援用看護計画システムを開発し、それにより入院期間の短縮、社会的入院患者および家族の生活の質を高めることを目指す。

3. 研究の方法

退院支援が進んでいる研究協力施設で聞き取り調査を行い、その結果、県および市町村単位でインターネット検索された結果を有効活用するための、長期入院精神障害者の退院支援用看護計画システムの設計を行う。

4. 研究成果

本研究は、コンピュータを用いて長期入院精神障害者の退院支援用看護計画システムを開発し、それにより入院期間の短縮、

社会的入院患者および家族の生活の質を高めることを目指すものであった。本システムが完成することで、看護師は患者の状態像を的確にアセスメントし退院に必要な看護計画を立案することができ、多職種で介入を実施・評価することができる。さらに本システムは、谷岡らが開発した精神科看護管理システム（PSYCHOMS®）の一部の機能を担っており、PSYCHOMS®の退院支援用クリニカルパス（CP）や地域連携CPを用いることで、患者の思いに沿った退院支援が行えるようになり、精神科の長期入院患者数を減らすために寄与すると考えられる。

22年度には、退院支援が進んでいる研究協力施設で聞き取り調査を行い、その結果、県および市町村単位でインターネット検索された結果を有効活用するための、長期入院精神障害者の退院支援用看護計画システムの構築を行うことに目的を変更し、システムの基本設計を行った。23年度は、本システムのプログラミングを完成させた。

本システムにより、看護師は北米看護診断協会（North American Nursing Diagnosis Association : NANDA）の13領域を用いて患者の状態像を的確にアセスメントし、その上で退院に必要な支援計画を看護計画データベースから立案し、計画に基づき、多職種が退院支援のための介入を実施・評価することができる。患者が希望する退院場所をインターネット検索で決定すれば、その場所へ退院するための目標を定め、退院支援CPを使用し多職種で介入を行うことができ、また地域連携CPを使用し、病院に入院中の訓練と退院後の生活支援を組み合わせることで、患者の思いにそった退院支援が行える。さらに退院時には、看護計画システムから自動で作成さ

れる看護要約（サマリー）を退院後の施設で効果的に活用したり、地域連携CPを使用することで継続的に患者を支援することができる。

PSYCHOMS®の退院支援用クリニカルパス、患者が希望する退院場所のインターネット検索、看護計画システムを有効に活用することで、長期入院精神障害者の患者の思いにそった退院支援を実現できる看護が行えると思われた。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計3件）

①大坂京子，川村亜以，千葉進一他：精神科アウトカム管理システム：PSYCHOMS®の開発とその課題，香川大学看護学雑誌，16(1)，85-91，2012.

査読有

<http://jglobal.jst.go.jp/public/2009042/2/201202277871954819>

②Tetsuya Tanioka, Kyoko Osaka, Shinichi Chiba, et al : PSYCHOMS®, An Electronic Nursing Management System to Facilitate Interdisciplinary Communication and Improve Patient Outcome in Psychiatric Hospitals , Proceedings of The 7th International Conference on Natural Language Processing and Knowledge Engineering, NLPK, 447-453, 2011.

査読有

http://ieeexplore.ieee.org/xpl/freeabs_all.jsp?tp=&arnumber=6138241&abstractAccess=no&userType=inst

〔学会発表〕（計2件）

①千葉進一，精神科におけるクリニカルパスとコンピュータによる看護管理システム（PSYCHOMS®）によるアウトカム管理，2011.11.19，沖縄コンベンションセンター（宜野湾市）.

② Shinichi Chiba: PSYCHOMS:COMPUTER MANAGED NURSING-CARE PLANNING SYSTEM AND COMPUTERIZED QUALITY MANAGEMENT OF NURSING OUTCOMES, CEBE INTERNATIONAL NURSING CONFERENCE, 2011.4.26, CEBU (Waterfront Cebu City Hotel & Casino).

6. 研究組織

(1) 研究代表者

千葉 進一 (CHIBA SHINICHI)
徳島大学・大学院ヘルスバイオサイエンス
研究部・助教
研究者番号：30515622

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：